

ソフトウェア品質保証部長の会

参加者の声

※第5期に入会されたメンバからいただきました

私は今回（第5期）からの参加ですが、同業他社の方との交流は他の外部団体を通じて長年経験してまいりましたが、品質保証本部の部長に限定された会合に参加するのは初めてでした。

品質保証における弊社の強みや弱み、他社における学ぶべきノウハウなど有意義な議論ができ大変貴重な経験となりました。

第5期・6期メンバ 富士通株式会社
臼杵 誠 氏

ソフトウェア品質保証部長の会には、5期から参加しています。

会での主な活動は、自分たちが悩んでいるテーマ毎にグループを作り、解決に向けた討議を行います。私は「超上流からの品質保証」に参加しました。自社では、超上流工程での検討漏れ等から問題が発生するプロジェクトが多くあり、他社ではどのような取り組みをしているのか知りたく、このテーマを選択しました。

討議を始めると皆さん同じ悩みを抱えており、会社は違えど同じ視点で話をする事が出来ました。討議した結果は自社に取り入れる事も行いました。

ソフトウェア品質保証部長の会は、各社の品質向上に必ず繋がる活動だと思います。

今後、多くの方が参加され、一緒に討議出来ることを楽しみにしています。

第5期・6期メンバ 東芝ソリューション株式会社
内海 俊行 氏

私がこの活動に興味を持ったのは、昨年度（2013年度）の発表会を聴講したことがきっかけとなりました。何故、興味を持ったかと言うと、活動報告に共感するところが多くあった点です。私の所属する組織はまだ歴史が浅く、品質保証の体制も一から手探りで構築してきました。

構築作業にはさまざまな障壁が存在し、克服するために苦労を重ねています。活動報告の内容に共感するとともに、何か品質保証部門として利用できるヒントが得られるかとの思いから、参加を決めました。実際に参加して感じたことは、業種や企業文化を超えて、品質保証部門の課題やノウハウは共有できることです。豊富な経験をもったメンバーの方々と近い距離感で、疑問や課題に感じていることの議論を交わすことができます。このような場は、希望してもなかなか実現しないと思っています。

今後もより多くの方々と意見の交換ができると期待しています。

第5期・6期メンバ 株式会社ベリサーブ
佐々木 方規 氏

私は、ITアウトソーシングのサービス・マネジメント領域全般の品質を担当しています。最初参加させていただいた時、会の名前が、『ソフトウェア品質保証部長の会』ということから、あくまで主体はソフトウェア中心の議論かと、少々心配しておりました。しかし実際は、品質に関する議論や意見交換であれば、その領域を限定せず、広くテーマを開放していただきました。

実際に、私も「品質保証の肝」というテーマのグループを選択し、開発から運用までの一連のフェーズにおける「品質の本質」を“肝”と呼んで、本気で熱い議論をさせていただきました。

いろいろな会社の方が、いろいろな業務視点から、自由闊達に意見交換できる“場”は、大きな魅力です。共通な想いはただ1つ・・・「品質向上」です。

第5期メンバ 日本IBM株式会社
佐野 健士 氏